

みやざき九条の会ニュース No. 19

(封書版) 2010年3月23日発行

〒880-0803 宮崎市旭 1-3-20 くすの樹ビル
宮崎中央法律事務所内
TEL0985(24)8820 FAX0985(22)2937
E-mail miyazaki9jou@yahoo.co.jp
http://welope9.org/

はじめに

みやざき九条の会ができてから5年が経ち、憲法九条をとりまく状況もこの間に曲折がありました。自民党・公明党政権、とりわけ安倍内閣は九条を含む憲法改悪を公然と掲げ、改憲法（憲法を改訂する手続き法）を強行しました。この法律は今年5月から発効します。自公政権は去年の衆議院選挙で惨敗し、民主党を中心とする鳩山内閣が発足したのは周知のとおりです。鳩山内閣は目下のところ金権疑惑に翻弄され、平和に関わる基地問題や国民の生活に関わる緊急の課題にまでは手がまわらない状況です。したがって、「改憲」というフレーズも表に出てこなくなりました。しかし、民主党の中には自民党よりも強硬といわれる「改憲」論者がいることはよく知られるところです。改憲法が施行されると何時でも「改憲」を上程することができるわけですから、次の参議院選挙で「改憲」勢力が増えれば一気に「改憲」論議が進む可能性は充分あります。

みやざき九条の会もこの5年間に会員数も増え、県内各地に40近くの九条の会が活動しています。憲法九条を守り広める活動は長期に及ぶものであり、粘り強く継続する、あるいは出来る活動スタイルの確立が望まれます。活動が特定の人に偏ったり、情勢の変化に焦るあまり無理なことをしようとすると、さまざまな弊害が生じます。活動の基本は「個々の会員が無理をしないこと、出来ることをすること」です。

みやざき九条の会では昨年暮れから、会の運営について議論を重ね、新しい運営方法を試みることにしました。その概要を述べます。

みやざき九条の会の新しい運営体制

- 1 事務局長制の廃止
事務局長に過大な負担がかかるため、これにかわる新体制に移行する
- 2 世話人会の運営
毎月開催する世話人会は持ち回り制による座長が運営する
- 3 世話人会の役割分担
世話人会の事務事項は世話人が責任を持って分担する
- 4 ニュースの編集・発行
・連絡事項を中心とする新しい「ハガキニュース」と
・意見交換を中心とする「封書ニュース」
の二本立てにする



<変更の趣旨とお願い>みやざき九条の会の運営とニュースの発行について上記のように変えることが世話人会で了承されました。これは成長した九条の会の運動をさらに発展させるための変更です。通常の運動組織の場合、成長に対応するためより集中的な体制に移行することが多いのですが、みやざき九条の会では仕事を分散する方向を選びました。

これは、九条の会が5年間の活動の結果として、すべての世話人が会を運営することの出来る資質を蓄積したという判断によります。九条の会は「憲法九条を守り、広める」という一点で繋がる個人の組織です。活動はそれぞれの会員が無理のない形で自覚的に行うものです。次に、会の運営に関わる事柄と最近のテレビドラマに関する問題を扱った二つの文章を掲載します。これについて、みなさんの御意見・感想をハガキ又はメールでお寄せ下さい。 次回の封書ニュースは寄せられた御意見・感想を中心に編集したいと考えています。

御意見・感想の送付先： 880-0924 宮崎市郡司分甲 5227-34 藤原宏志宛
E-mail: hiroshi.fujiwara@lup.bbiq.jp

代表世話人の追加について

2月22日世話人会で牧村 進氏を新しく代表世話人にすることを決めました。牧村さんは本会の事務局長として活躍してこられましたが、前述のとおり事務局長というポストを廃止することになりました。牧村さんの経験と能力は貴重であり、今後とも本会の発展に寄与していただくため代表世話人になってもらうことになりました。牧村氏の一層の活躍を期待します。

2010年度 みやざき九条の会交流会の開催について

宮崎県内の九条の会に交流会の開催について意向をお尋ねしました。その結果、県内交流会を開催したいという意見が多数寄せられましたので、5月15日(土)13:00～宮崎市中央公民館にて開催を目途に準備を進めています。同時に各九条の会の活動状況や問題点についてお聞きしたところ、活発な活動を展開されている会も多数ありますが、ややマンネリ気味になり、中心になって活動する人に負担が重なっていたり、財政的に苦しいところもある様子がわかりました。今度の交流会でこれらの実情を交流し具体的な解決策について話し合いたいと考えています。



日時：2010年5月16日(日)13:15～(13:00開場) 時間厳守でお願いします。
(13:00からの会場設営を手伝える方は12:45に会場にお集まり下さい)

会場：宮崎市民プラザ4階 ギャラリー1

○ 上記交流会準備会：4月17日(土)13:00～ 宮崎中央法律事務所 くすの樹ホール

2月11日ピースウォークの中止について

2月11日午後予定しておりました恒例のピースウォークは当日降雨のため中止致しました。なお、中止にあたり連絡等で不行き届きがあったことをお詫び致します。

当面の予定について

交流会準備会	4月17日(土)13:00	於：宮崎中央法律事務所	くすの樹ホール
2010交流会	5月16日(日)13:15	於：宮崎市民プラザ4階	ギャラリー1
世話人会	5月17日(月)18:30	於：宮崎中央法律事務所	くすの樹ホール

*****イベント案内*****

■ ピースウォーク 5月3日(月)12:30～13:30 宮崎駅西口—高千穂通り—山形屋交差点
—若草通り—宮崎駅西口

■ 第68回憲法と平和を考えるつどい

『東アジア近代の歴史から平和を考える～韓国併合100年、憲法いかした平和外交へ』

講師：明治大学教授の山田 朗さん。

とき：5月3日(月)10:00～12:00

ところ：宮崎市中央公民館3階大研修室

—今回の講演は、現情勢にマッチした内容で、たいへん貴重かつ有意義な話しが聞けると思います。

ぜひ若い人を一人ずつ連れて参加しましょう。

資料代として500円いただきます。

主催：日本科学者会議宮崎支部、宮崎民主法律家協会、協賛：憲法と平和を守る宮崎県連絡会

(この「つどい」は、他団体の主催ですが、本会も関連行事として積極的に位置づけ、ご案内いたします)

★ 2010年会費およびカンパのお願い

当会の年会費千円は主に通信、消耗品費として使われています。現在の財政状況は当会が今後息の長い多面的活動を展開するうえで充分とはいえません。そこで世話人会では2010年会費に加えて任意カンパ(一口：千円)をお願いすることにしました。

同封した(振り込み用紙)を用い2010年会費に加えて、できればカンパも併せて振り込んで頂きますようお願い申し上げます。

郵便局振り込み先

口座記号番号	: 01760-4-131244
加入者名	: みやざき九条の会
年会費	: 1000円
カンパ(任意)	: 一口1000円

九条を守る運動の発展をめざして

みやざき九条の会代表世話人 藤原宏志

1 ホッケのはなし

ホッケという魚は寒い北海の底に生息する根魚である。普通の魚にある浮き袋がない。したがって、海中を泳ぐときは尾びれを強振し水を後方に蹴らなければ前進・浮上することができない。春になると流氷が溶けるとともに、流氷が蓄えていた養分が海中に放出されプランクトンが大量発生する。海の表面近くに浮遊するプランクトンはホッケの餌であるが、根魚で浮き袋のないホッケは海の表面まで泳ぎ上がり浮遊する餌を捕まえるのは苦手である。おまけに海面近くにはホッケの天敵であるカモメが待ちかまえている。ホッケが餌を手に入れるためには、海面に浮遊するプランクトンをかき集め、カモメの届かない深さまで持ってくる驚異の作業が必要になる。

そこでホッケは数万匹の大群で海中に大きな渦をつくり、その渦の力で海面近くのプランクトンを吸い寄せ海面下数メートルまで引き込むのである。その渦の水流は秒速0.5m、これでも人間を巻き込むほどの力になる。

この海中渦をつくるためホッケはホッケ柱と呼ばれる群体をつくる。これは、数万匹のホッケが輪を描きながら一斉に海面めがけて上昇する。海中でみるとその群は十数メートルの柱状になることからホッケ柱と呼ばれている。この柱は浮き袋のないホッケが尾びれを強振し海面に向かって泳ぐ結果、尾びれに押された海底向けの水流が発生して渦を形成する。渦に巻き込まれたプランクトンは海面下数メートルまで引き込まれホッケの餌となる。餌を食べたホッケは後続のホッケに席をゆずるため下降し、また上昇する。こうしてホッケはカモメの襲撃を受けることなく、海面近くに浮遊する餌・プランクトンを捕食するのである。

2 ホッケの「群知能」

ホッケ柱の観察で判ったことの一つに、この見事な集団行動に「リーダーはいない」という事実がある。これはもっとも重要な事実と思われる。集団行動には集団を指導する、あるいは集団に命令する統率力のあるリーダーが必要という既成概念が私たちの中にあるのではなかろうか？ ホッケ群にはリーダーがないのになぜ統一された行動がとれるのか？

ホッケの約束・行動基準

ホッケは持って生まれた本能、永い進化の過程で遺伝子に組み込まれた行動基準を持っている。その基準は次のとおりである。

・互いにぶつからない・中心に向かって動く・上に向かって動く・捕食したら下方に動く

各個体がこの単純な条件を備えていれば、リーダーがいなくても周辺状況に応じて、個々の判断で複雑な集団行動をとることができ、結果として集団・群に利益をもたらすことができる。難しい理論はともかくとして、これが「群知能(Swarm Interigence)」と呼ばれる科学である。群知能という考え方は生物行動の観察から生まれ、いまやロボット工学や自動制御という先端科学の発展に大きく寄与している。

3 九条の会の運動

小森陽一氏のはなし

「九条の会」の事務局長である小森陽一氏は2005年12月に開かれた全国交流集会で「九条の会」の運動について「人間の信頼関係を再構築する運動」であるとし「極めて伝統的な日本社会の民衆の文化的な記憶に根ざした運動だと、私は誇りを持っています。講という運動のあり方なんです。頼もし講とか無尽講って聞いたことがあると思います。（中略）実は今そういうことを私たちはやっているのです。（中略）今のギスギスになってバラバラにされている社会を、もう一回人間らしい社会として取り戻す。そういう運動だということです。」と述べている。

運動体としては、少なくとも従来の運動体に較べ曖昧であり、組織的には脆弱に見えるかもしれない。九条の会は九人の識者による短い呼びかけ文に呼応する集団であり、強いていえば、「憲法九条を守りましょう。世界に広げましょう」という、一点での個人の集まりであり、思想・信条などの違いを越えた集まりである。いわば、きわめて単純・簡潔な絆・約束であるといえよう。

世話人会の運営について

みやざき九条の会は発足して5年が過ぎようとしている。九条の会の主役は会員であるが、会の日常的な活動は世話人会に負うところが大きい。とりわけ世話人会事務局の負担は会が大きくなり活動が広がる中で過重になってきている。ゆるやかな組織である九条の会は指揮命令系統が整備された組織と異なり、会員有志の自発による世話人会で運営されており代表世話人も特別扱いはされない。会運営の実務は会が発展するにつれ増加することはあっても減ることはない。これは発足当初から予測されたことであり、ことばを換えれば会が発展し、新しい段階にきたことの証でもある。会のゆるやかさを残したまま増大する実務に対処する方法を考えなければならない。

これまで世話人会の運営は事務局長を中心に行ってきたが、事務局長の負担が増える一方、世話人会の経験も蓄積され、各世話人が事務局運営を遂行することが可能になったと判断される。そこで新しい事務局運営として、各世話人が毎回交番して座長となり世話人会を運営するとともに、事務局長を廃止することが提案されている。世話人は会の運営に必要な事項を各自分担し、増加が予想される実務に対応する体制をとることになる。

いまこそ「九条を守る運動」を

日本国憲法第九条は世界平和を実現する確かめられた究極の手段である。それ故に「世界の宝」なのである。オバマ米大統領の「核廃棄」へ向けたメッセージは核使用の前歴がある国の指導者の発言として意味があるが、憲法九条と較べれば小さな一歩であろう。

約束ごとが単純であれば、組織としての体をなさないのではないかという不安もあろう。

しかし、ホッケはリーダーもなく、個体の単純な行動基準で見事な集団・群行動を行っている。

九条の会は「憲法九条を守ろう、広げよう」という単純な行動基準のもとで、会員がそれぞれの状況に応じて工夫し、出来る範囲で活動することにより平和な世界を作ろうとする運動である。あくまでも「自分のできる範囲で自分のやり方」で進めることである。時には井戸端会議で戦争の怖さを話すこと、お年寄りから戦時中の苦勞を聞くこと、そんな小さな一歩、半歩が「九条を守り、広げる」ことになる。

今、なぜ「坂の上の雲」か（上）

－日清戦争までを中心に－

せぐち ひでお
瀬口 黎生

1. はじめに

昨年暮れ、NHKは司馬遼太郎の上記の作品を全5回計7時間半の大型ドラマとして放映しました。この小説は70年安保の時代の約4年にわたって産経新聞の夕刊に連載され、その後単行本や文庫本にもなって、大ベストセラーとなり広くサラリーマンを中心に読まれた「歴史物語」で、2000万部にも及ぶ発行部数です。

2. どんな読み物か

幕末のわが国はアジアの他の国と同様植民地化の危機にありました。明治維新によってともかくも乗り切ります。この明治の開化期から日露戦争までを、坂の上の雲を目指して駆け上がって行くものとして捉え、伊予松山出身の秋山好古、真之という帝国陸海軍の主要な役割を果たした軍人と、正岡子規という現代俳句や短歌の改革をした三人の人物に託したエピソードでつないで「明るい明治」として描いたものです。

司馬は第二次大戦末期に繰り上げ卒業して、満州北部の戦車部隊に学徒出陣し、敗戦間際に本土決戦のため栃木に配属されます。ここでの体験を後にエッセイで、九十九里浜に米軍が上陸しそこに出撃する時、避難民とぶつかるがどう行動するのかが問題になり、踏み潰して行けとの命令に、「なぜこんな馬鹿な戦争をする国に生まれたのだろうか？いつから日本人はこんな馬鹿になったのだろうか？」との疑問を持ち、「昔の日本人はもっとまじだつたに違いない」と思い小説を書くようになったと述懐しています。明治の日露戦争までの日本はまともだった。それ以後軍部によって駄目になる。これが「坂の上の雲」の背骨をなす思想です。つまり「明るい明治」と「暗い昭和」という捉え方です。単純化するとこれが司馬史観といわれるものですが、実証性を主張するにもかかわらず、資料の誤読、資料批判の不徹底、創作の割り込みや誇張など、歴史家の間では史観と呼ぶには値しないと考えられています。

戦後、司馬は新聞記者として出発しますが、1961年から作家生活にはいります。彼の書く歴史物は歴史を今の時点から俯瞰して、一つの物語として見ながら、エピソードとして綴って行くという特徴があります。その語り口の巧みさから広く読まれました。国民作家と呼ばれる所以です。しかし本質は一般受けのするジャーナリストだと私は考えています。

司馬遼太郎の作品は右にも左にも受け入れられやすさを持っており、それゆえ危ういと小森陽一さんは指摘しています。

3. ドラマ化はどう企画されどう作られているか

司馬は生前ミリタリズムに流れることを危惧して、この作品の映像化を断ってきました。しかし、死後もドラマ化の策動は続きました。そして数年前から周到に計画され、3年がかりの大型ドラマとして作られることになりました。NHKはその制作意図を書物が読まれなくなっているし、暗い時代なので若者に元気を出して欲しくて作ったと語っているそうです。本当にそんなことでしょうか。

ドラマ化にあたって、大勢の脚本家がかかわり原作にかなりの手が加わっています。しかし本質は変わっていません。司馬史観の持つ根本的な弱点は何ら克服されてはいませんでした。それは明治の初め、江華島事件を起こした時から日本の朝鮮や中国に対する侵略的な介入について、ほとんど触れないか歪められているからです。

江華島事件では黒船が品川沖にきて開国を強要し、やがて不平等条約を日本に押しつけたのと同じことを、同じ手口で朝鮮にします。日清戦争は朝鮮支配をめぐる清国と日本の覇権の争奪です。当時朝鮮は鎖国と開国の間で揺れていました。そのきっかけとなったのが、東学農民蜂起です。政府の悪政と搾取に苦しんだ全羅道の貧農が、1894（明治 27）年 2 月に立ち上がり、人権の回復、両班や官吏の悪政をただし、封建的搾取を制限して、反日を要求します。4 カ月の戦いに敗れた政府軍は妥協をはかると同時に、清に武力介入を要請しました。清は牙山に軍隊を送りますが、すぐ日本も対抗して仁川に兵を送りソウルに進駐しました。

7 月 25 日に東郷の日本艦隊は仁川沖で清国の増援軍を輸送していたイギリスの輸送船を撃沈します。実際の宣戦布告は 8 月 1 日です。しかし、実質的な戦争は 7 月 23 日、日本軍が朝鮮王宮を占領して武装解除を行い国王に清国軍の撤退を強要した時に始まっていました。11 月には旅順まで攻め込んでいます。日清の介入を危惧して、いったん手を引いた東学農民軍が再び「反日」を掲げて蜂起をおこし、多数の虐殺事件に見舞われます。

戦後、朝鮮政府の実権を握ってロシアへの接近をはかった閔妃を、王宮に侵入して殺害した「閔妃暗殺」事件や下関条約などを含めて全体を把握することが大切と思われませんが、司馬も NHK のドラマも素通りしています。

ドラマでは東郷の仁川沖の「豊島沖海戦」のみを取り上げ、引き返しを要求して拒否され撃沈したが、国際法上問題のなかったことを強調して正当化しています。その他の侵略的行為の歴史的事実は司馬作品にもドラマからも消されてしまっているのです。

「王宮占拠」についての正式の『日清公刊戦史』も「王宮を囲みし際の情況報告の件」という外交文書も偽りであることが、1994 年福島県立図書館所蔵の「佐藤文庫」文書で判明しました。驚くべきことです。

4. おわりに

おそらくこの企画が具体化した時の政治状況と現在は異なっています。憲法を変えるには 2 つの関門を越えなければならないことは誰でも承知しています。5 月には国民投票法が発効します。

国民の政治意識にそれとなく働きかけて操作するには、歴史意識の変更を企てるのが有効と心得ているに違いありません。「坂の上の雲」のドラマ化は絶好のものだったでしょう。これからも、2 年間は年末に全国で見られることになります。先日亡くなった九条の会の代表世話人であった加藤周一さんは「司馬遼太郎の史観は天才主義である。天才たちは政治的支配層の力関係の中で動き、……民衆が演じた役割と、経済的な要因がもったであろう意味は、ほとんど描かれず、分析されない。……それ故に変革期を扱いながら、かえって現状肯定派を大量に生み出す皮肉な結果を生んでいる」と述べています。このことは自由主義史観研究会の藤岡信勝らの「新しい歴史教科書を作る会」が司馬史観の信奉者であることから了解されます。

私たちはこれらのソフトパワーの仕掛けを見抜いて、きっちりと対峙しなければなりません。今年末の NHK ドラマ放送の後、再度論評したいと思います。